



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



主基斎田お田植えまつり（綾歌郡綾川町）

目次

| | |
|--|---|
| 1. 農業農村整備事業の推進などを要望 | 2 |
| 2. 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会 並びに 21 世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式 | 3 |
| 3. 農地・水保全管理支払交付金の概要 | 4 |
| 4. 平成 24 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業 推進委員会管理専門指導員会開催 | 5 |
| 5. 水と土と農・広報キャンペーン展開 | 5 |
| 6. 「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を 利用した地域の水管理」研修を実施 | 6 |
| 7. 土地改良区だより 豊稔池土地改良区 | 7 |
| 8. 会と催し | 8 |

農業農村整備事業の推進などを要望

去る 7 月 2 日、大山会長をはじめ、組橋副会長など
 本会役員と農地・水保全管理支払交付金に係る 3 地域
 （東讃、中讃、西讃）協議会長が浜田香川県知事や
 平木香川県議会議長などに対して、「農業農村整備事業
 の推進」及び「農地・水保全管理支払交付金の充実・
 強化」について要望を行った。

近年、本県の農業・農村は、農業者の減少や高齢化
 の進行等に伴い、県民の食生活に欠かせない農産物の
 安定供給をはじめ、県土や自然環境の保全など、農業・
 農村の有する多面的機能の低下が懸念されるとともに、
 防災・減災対策などの新たな課題が発生しており、「農業の体質強化」をはじめ、「災害に強い農村社会
 の形成」などを図るためには、農業農村整備事業の計画的かつ効率的な推進が必要不可欠であると市町
 や土地改良区等から強い要望がなされている。

しかしながら、具体の施策を推進するための予算については、国の平成 22 年度農業農村整備事業予算
 の大幅な削減や地域自主戦略交付金への移行等に伴い、十分に確保されているとは言えず、農地・水保
 全管理支払交付金についても、平成 24 年度予算は厳しく、計画的な活動に支障が生ずる状況にある。

このため、本県の特色を活かした農業農村整備事業のより一層の推進とともに、農地・水保全管理支
 払交付金の計画的な推進のため、平成 25 年度予算の編成に当たって特段の配慮などを要望した。



要望書を受け取る浜田知事(左)と手渡す大山会長(右)

要望事項 『農業農村整備事業の推進について』

- 地域の実情に即した農業農村整備事業の計画的な推進
 を図ることができる予算の確保を政府及び関係機関に
 対して働きかけるとともに、県予算についても十分に
 確保すること。
- 老朽ため池の整備をはじめ、耐震診断や耐震化整備な
 どの総合的なため池の安全対策、農業水利施設の長寿
 命化対策、中山間地域の活性化対策、食料自給率の向
 上に資する農業生産基盤の整備等に配慮すること。

要望事項 『農地・水保全管理支払交付金の 充実・強化について』

- 農地・水保全管理支払交付金の計画的な推進を図ること
 ができる予算の確保を政府及び関係機関に働きかけると
 ともに、県予算についても十分に確保すること。
- 向上活動における積立金制度の創設や交付金に係る申請、
 交付ルートの一元化など、より一層の充実・強化を関係
 機関に働きかけること。



要望書を受け取る平木議長(右)
 と手渡す泉川東讃協議会長(左)

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会並びに 21 世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式

去る 6 月 26 日、高知県高知市の高知新阪急ホテルにおいて中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会が開催され、各県土連から会長、常務理事等 38 名が出席した。

開会にあたり、水土里ネット高知の依光会長職務代理人・副会長から挨拶があり、その後、21 世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式が行われ、広島県の水土里ネット神田、山口県の防府水土里ネット、高知県の水土里ネット高知市東部の 3 団体に表彰状と記念品が手渡された。



全国水土里ネットの中條専務理事

続いて、中国四国農政局の國弘局長、高知県農業振興部の笹岡副部長、全国水土里ネットの中條専務理事より祝辞があり、その後、中国四国農政局の安部設計課長より平成 24 年度農業農村整備対策予算の概要と新たな土地改良長期計画等について情勢説明があった。

議事では、水土里ネット高知の依光副会長を議長に選任し、第 1 号議案「農業農村整備推進の要望について」、第 2 号議案「本年度の事業計画について」が審議され、いずれも原案通り承認された。併せて、本提案・要望書を国会議員、財務省、農林水産省並びに中国四国農政局へ提案、要望する活動計画が決定された。

農業農村整備推進に関する提案事項（案）

- 提案 1 農地・水保全管理支払交付金に対する要望額の確保及び事務の効率化について
- 提案 2 農業体質強化基盤整備促進事業に対する予算枠の拡大及び事業の継続について
- 提案 3 小水力発電導入促進のための予算枠の拡大と更なる水利使用許可の緩和について
- 提案 4 危険ため池の整備を促進するための制度事業の確立と国庫負担の拡充について
- 提案 5 水田汎用化を促進するための制度事業の確立と国庫負担の拡充について



農地・水保全管理支払交付金の概要

国(農林水産省)は、農村地域における過疎化や高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、農地や農業用水などの地域資源の適切な管理が困難となってきたことから、農家だけでなく、非農家を含む地域ぐるみで行う地域資源の保全管理と農村環境の保全・向上の取組みを支援する事業制度(旧農地・水・環境保全向上対策)を平成19年度に創設しました。

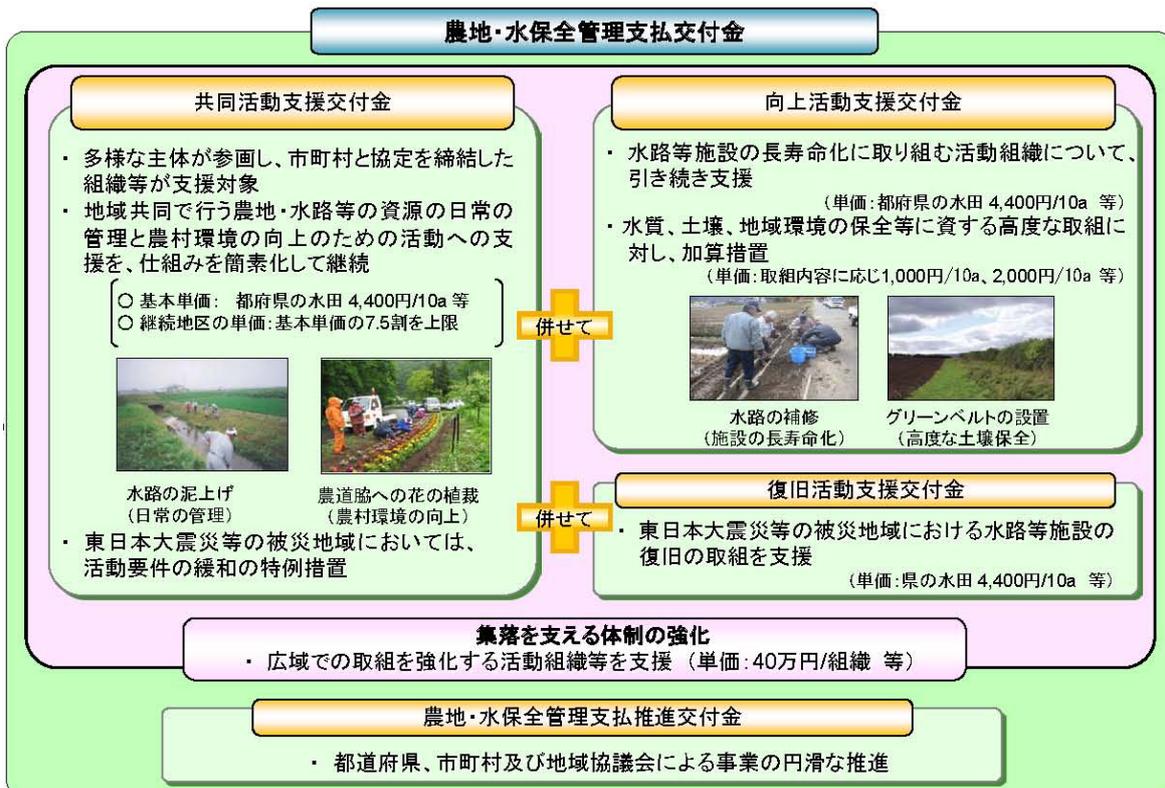
また、昨年度、老朽化が進行する農地周辺の水路等の施設の長寿命化や、水質、地域環境などの高度な保全活動を支援する「向上活動」を創設するとともに、本年度、活動項目の簡素化をはじめ、集落を支える体制の強化や広域化など「共同活動」に係る制度を拡充・強化して平成28年度までの対策として継続されることとなりました。

一方、本県では、平成19年度の本制度創設時から県下各地で取り生まれ、これまでに8市6町において、全耕地面積の25%に当たる約8,000haの農地を対象に、それぞれの地域が抱える課題に即して、創意工夫を活かした活動に取り組んでいます。その結果、農地や農業用施設等の保全はもとより、地域環境の保全・向上や地域コミュニティの活性化などに効果が発揮されているところであります。

今後、地域の実情を把握する本会としては、地域が抱える課題を踏まえ、農家だけでなく自治会や老人会など地域ぐるみの協働活動による課題の解消に向けた取組みに対して提案や助言を行うなど、地域の活性化や生活環境の向上に積極的に支援してまいりますので、農地をはじめ、水路やため池などの農業用施設や地域環境を守る『農地・水保全管理支払』に取り組んでみませんか。

農地・水保全管理支払交付金 (平成24年6月現在)

| 活動区分 | 組織数 | 対象面積 (ha) |
|------|-----|-----------|
| 共同活動 | 221 | 7,944 |
| 向上活動 | 122 | 4,894 |



農林水産省ホームページより

平成 24 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業 推進委員会管理専門指導員会開催

去る 7 月 3 日、香川用水記念会館 5 階演習室において平成 24 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会が開催された。

この管理専門指導員会は、土地改良施設の円滑な管理を促進するため、土地改良施設の点検、補修、操作等土地改良施設の管理に関する専門技術的な診断や指導を行うことを目的としている。

昨年、定期診断施設の見直しが行われ、平成 24 年度から 28 年度までの 5 年間に揚水機施設 86 箇所、排水機施設 26 箇所、樋(水)門 18 箇所、畑かん施設 12 箇所、頭首工 81 箇所、ため池 189 箇所、水路 92 箇所、合わせて 504 箇所の施設を診断する予定である。

協議事項

- ・平成 24 年度土地改良施設管理円滑化事業施設の診断・管理指導及び相談等運営計画(案)について
- ・平成 24 年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画について
- ・平成 23 年度農業用施設における事故発生について
- ・水土里情報システムによる土地改良施設の管理について

水と土と農・広報キャンペーン展開

6 月 15 日、満濃池の初ゆる抜き式に併せ、21 世紀土地改良区創造運動の一環として「水と土と農・広報キャンペーン」を実施した。

午前 10 時、満濃池堤防上の東屋前において出陣式を行った後、水土里ネット香川、香川県、中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所、同香川用水土器川沿岸農業水利事業所がそれぞれのブースに分かれ広報活動を行った。本会は、県の協力を得て「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の入賞作品を展示するとともに、



水土里ネットの活動を紹介した冊子「水土里の風」や農業水利施設の重要性をPRする「さぬきのため池」等のパンフレットを配布した。

正午には、水土里ネット満濃池の役員等により取水塔のゲートが開かれ、毎秒 5 トンの水が樋門から水しぶきを上げながら流れると見学者らから歓声が上がった。



「アジア・アフリカ地域 農家組織による ため池を利用した地域の水管理」研修を実施

昨年に引き続き独立行政法人国際協力機構(JICA)四国支部から委託を受け、アジア・アフリカ地域 6ヶ国から 9名の研修生を受け入れ、去る 6月 4日から 29日までの 1ヶ月間にわたり「農家組織によるため池を利用した地域の水管理」研修を実施した。研修生は、香川県の水利慣行をはじめ、ため池や水路などの農業水利施設の診断や改修に関する技術、土地改良法や土地改良区の組織・運営体制など多方面にわたる研修カリキュラムを熱心に受講し、毎日の受講後、その日のレポート(テクニカルノート)を提出するなど、厳しい研修生活を送った。



研修では、それぞれの母国における農業が抱える課題、特に農業水利施設の整備や保安全管理、農業用水の安定的な供給体制や維持管理体制などの状況と課題について、具体的に地図や写真を使用して説明のうえ、この研修における「技術や知識の習得目標」を発表し、研修がスタートした。

研修生は、非常に熱心で、母国の農業が抱える課題の解消に向け、講師に対して時間が経つのも忘れ、質問や議論を活発に行った室内での研修はもとより、現地視察においても、母国の業務遂行に当たって参考となる農業水利施設を求めて積極的に周辺地域に足を運ぶなど、習得目標の達成に向けて取り組む姿勢が顕著であった。

また、西山コースリーダーと金森国際協力専門員の指導のもと、最後に研修の成果として「技術レポート(テクニカルレポート)」及び「研修成果報告書」を取



テクニカルレポート作成の指導を受ける研修生

りまとめるとともに、母国における今後 3年間の農業振興のための「行動計画(アクションプラン)」を発表し、最後に長澤 JICA 四国支部長から研修生ひとりひとりに修了証書が授与され 1ヶ月間に及ぶ研修が終了した。

今回、香川県で習得された知識や技術、とりわけ「ため池の保安全管理」技術がアジア・アフリカ地域の農業振興に活用され、農業の着実かつ飛躍的な発展につながることを祈念するものである。



修了証書授与
Mr.MAUGO(タンザニア)と長澤支部長

～土地改良区だより～

豊稔池土地改良区（観音寺市）

豊稔池土地改良区は、昭和 24 年の土地改良法の制定を受け、昭和 25 年 7 月 31 日、県下で 3 番目の土地改良区として設立された。

当土地改良区の前身は、豊稔池普通水利組合と大関耕地整理組合の両組合である。このうち、豊稔池普通水利組合は、豊稔池が竣工した翌々年の昭和 6 年に、明治 34 年に設立されていた大野原普通水利組合を改組し設立したものである。一方、大関耕地整理組合は、大正 7 年に井関池と大谷池の増築を目的に設立され、豊稔池の竣工後に組織を見直し、豊稔池の管理など全てを豊稔池普通水利組合に委譲したものである。



豊稔池 越流及びサイホン放流状況



村上理事長(中央)と職員

当土地改良区は、水稲に加え、全国有数の生産量を誇る「らりるれレタス」をはじめとする野菜、温州みかんや梨などの果樹を組み合わせた複合経営を中心とする本県の中核的農業生産団地を形成する三豊南部地域の農地 475ha を所管している。また、所掌業務として、生産の基礎である農業用水の円滑な配水を目指し、豊稔池と井関池の基幹ため池をはじめ、青葉池や千歳池など 12 箇所のため池、井関幹線水路など 7 路線、15km に及ぶ幹線水路の維持管理や配水管理を行っている。

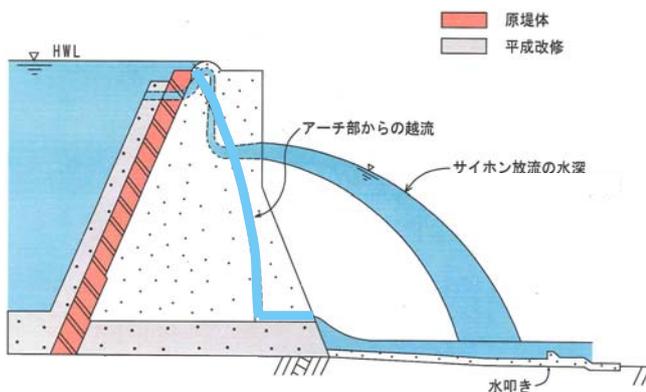
また、厳しい農業情勢ではあるが、村上理事長をはじめ、土地改良区の役職員が一丸となり、レタス栽培など地域の特色のある農業のより一層の発展を目指し、ため池の整備など農業水利施設の保全管理等に積極的に取り組んでいる。

【豊稔池】

豊稔池は、我が国のコンクリートダム築造技術の草創期、大正 15 年 3 月から昭和 4 年 11 月までの 3 年 8 ヶ月をかけて、当時の農業土木技術の粋を集めた画期的な工法であるマルチプルアーチダム（多拱扶壁式粗石モルタル積堰堤）として築造され、その外観は中世ヨーロッパの古城を偲ばせる。また、サイホン式構造の洪水吐をはじめ、堰堤アーチ裏部にコンクリートブロックを採用するなど、随所に斬新な技術を取り入れ、学術的にも高く評価されていることから、平成 18 年 12 月に国の重要文化財に指定された。なお、築造後、半世紀余りを経過し老朽化が進行したことから、平成元年度から平成 5 年度にかけて補修工事を実施した。

土地改良区の概要

| | |
|--------|------------------------------|
| 所在地 | 観音寺市大野原町大野原 1368-1 |
| 設立年月日等 | 昭和 25 年 7 月 31 日 香川県第 3 号 |
| 関係市町 | 観音寺市 |
| 管内農地面積 | 475 ha（田 475ha、畑-ha） |
| 組合員数 | 1,209 人（総代 50 人） |
| 役職員数 | 理事 15 人、監事 4 人、職員 2 名 |



会 と 催 し

| 開催月日 | 会 の 名 称 | 開催場所 |
|---------------|---|-------|
| 6 月 11 日 | 第 28 回香川用水水口祭 | 三 豊 市 |
| 〃 | 新規就農に係る人・農地プラン検討会 | 綾 川 町 |
| 14 日 | 仁池初開拔式（綾歌郡仁池土地改良区） | 丸 亀 市 |
| 15 日 | 満濃池初開拔式典（満濃池土地改良区） | まんのう町 |
| 20 日 | 三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会 | 三 豊 市 |
| 〃 | 平成 24 年度第 3 回観音寺市地域担い手育成総合支援協議会幹事会 | 観音寺市 |
| 〃 | 平成 24 年度品質確保支援研修会 | 岡 山 市 |
| 22 日 | 香川県農業会議常任会議員会議 | 高 松 市 |
| 24 日 | 主基斎田お田植えまつり | 綾 川 町 |
| 26 日 ～27 日 | 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会並びに 21 世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式 | 高 知 県 |
| 26 日 ～29 日 | 平成 24 年度中国四国農政局講習会 V E 技術（基礎・チームリーダー育成） | 岡 山 市 |
| 28 日 | 平成 24 年度土地改良管理指導担当者会議 | 東 京 都 |
| 7 月 2 日 | 農業農村整備事業推進の要望活動 | 高 松 市 |
| 〃 | 農業集落排水施設震災対応の手引き（案）の説明会 | 岡 山 市 |
| 3 日 | 平成 24 年度土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会 | 高 松 市 |

平成二十四年七月 盛夏

水土里ネット香川
（香川県土地改良事業団体連合会）



- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-------------|----------------|-------------------|---------|----------------|-------------|--------------|----------------|---------------|-------------|-------------|---------|--------------|---------|-----|
| 監 事 | 監 事 | 代 表 監 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 常 務 理 事 | 副 会 長 | 会 長 |
| 菰 渚 将 鷹 | 稻 尾 正 成 | 森 川 光 典 | 山 本 貞 二 | 栗 田 隆 義 | 祐 安 正 | 村 上 明 秋 | 佐 々 木 勇 夫 | 篠 原 静 夫 | 三 笠 輝 彦 | 泉 川 静 雄 | 十 川 昭 五 | 山 地 孝 士 | 組 橋 啓 輔 | 大 山 茂 樹 | |
| 高松市古高松土地改良区理事長 | 丸亀市土地改良区理事長 | 観音寺市高室土地改良区理事長 | 内海町安田三五郎池土地改良区理事長 | まんのう町長 | 綾歌郡永富池土地改良区理事長 | 豊稔池土地改良区理事長 | 多度津町土地改良区理事長 | 坂出市川津町土地改良区理事長 | 高松市一宮土地改良区理事長 | 香南町土地改良区理事長 | 大川町土地改良区理事長 | 学識経験者 | 香川用水土地改良区理事長 | さぬき市長 | |

外 職 員 一 同